

『ベビーカーでウォッチング』報告書

- ・日時：2009年11月26日（木）10:30～12:00
- ・場所：茨城県立近代美術館（水戸市千波町）
- ・参加者：親子6組

視察の様子・意見交換の様子

千波湖ほとりにある茨城県立近代美術館を視察。11月に来館者300万人を突破した美術館で、作品展示の他、子ども向けワークショップの企画、アートフォーラムにあるキッズスペースなど、子どもも楽しめる美術館である。見学は、地階講堂、トイレ（おむつ替えシート）、1階トイレ、第1、第2常設展示室、2階第1、第2企画展示室、トイレと順に回った後、最後に授乳室（救護室）を見学した。視察終了後、会議室にて意見交換会を行った。

司会挨拶

ペンギンクラブのベビーカーでウォッチングにお集まりくださりまして、ありがとうございます。塩田さん、塙さん、小林さんの案内で、地階から1階、2階、トイレなどいろいろなところを案内していただきました。その都度、いろいろなご意見が出ているかと思いますが、ここで改めて述べたい意見がありましたら何うということでもよろしいでしょうか。

意見交換要旨

【美術館までのアクセスについて】（敬称略、箇条書きの意見は、見学途中に出たもの）

- 駐車場と美術館を結ぶ動線に、ベビーカーはどこを通ればいいのか、表示してほしい。

参加者A：正面駐車場が満車だったので臨時駐車場に止めたが、なだらかなスロープが見つからず石畳がガタガタしていた。また、どこからが一番入りやすいのかがわからなかった。

司会：子育て中の人は車が手放せないで、障害者向けの駐車スペースがあるようにベビーカー用のスペースがあるととっても嬉しい。石畳は芸術面からの造りだとは思いますが、車いすやベビーカーには通りにくい。

【地階 講堂について】講堂…250名収容、映画上映会や講演会、コンサートなどに使われる。

- ベビーカーでの来館者の誘導は、客席は階段状になっているためスタッフが手伝い、最前列に案内すること。
- 客席後方のスペースに、ベビーカーで来た方を案内してほしい。
- ベビーカーの横で大人が座れるようにパイプいすを用意することもできる。

参加者B：講堂の後にスペースがあるので、ベビーカーを置けるようにしたり案内したりほしい。家族連れで来た際、ベビーカーの親子がそこに座りやすいように待ち受けてほしい。

司会：子ども連れで来ても大丈夫、孫を連れてきても大丈夫とわかれば、PRにもつながる。

参加者C：地階の講堂後方にスペースがあるのはいいが、中段に踊り場があると、車いすの方、ベビーカーの

方も後ろだけでなく、前でも見ることができている。そのためには両脇にスロープも必要。また、地階トイレのベビーベッドなど、利用しやすいように表示があるといい。

【地階 トイレについて】

- 個室にベビーカーを入れることができない。
- ベビーキープがほしい。
- 現在あるおむつ替え用のベッドは横開きタイプだが、使いにくいので、縦方向に開くものにしてほしい。

参加者 A：(現在の置き方では) ベビーベッドを使っているときに他の方に迷惑になると感じるので、ベビーカーを置いてスムーズに通れるようにしてほしい。おむつゴミは持ち帰るようにしているが、捨ててもいいのであれば、遠慮なく捨てられるような表示をしてほしい。

司会：おむつの持ち帰りは育児者の考えるところなので、マナーを守れるように表示があるといい。駐車場からのアクセスも表示があるといい。まずここ(エレベーターのある地階)に来るという発想がない。地階にはベビーベッドもエレベーターもあるので。

【1階 アートフォーラムについて】

- 工作用のテーブルを使用するには、床に直に座らなければならないのが気になる。

参加者 D：1階アートフォーラムにキッズスペースがあることをもっと PR すれば、ベビーカーで来る方も増えるのではないかと思う。

司会：美術的展示には優れているが、子どもにとっては見にくい表示もあり気になった。公共施設とは違い美術館なので、どこまで提案していいかわからない部分ではある。1階の障害者向けトイレは「多目的トイレ」などの表示にしてもらおうと誰でも使いやすくなる。また、内鍵は小さい子が開けてしまうので、届かない上の方にもう一つ鍵があるといい。

参加者 C：キッズスペースは、わかりやすい表示、子どもが好む色合いにしてほしい。土足禁止のスペースが絨毯の色分けのみだったので、子どもにはわかりにくい。

【1階 トイレについて】

参加者 A：障害者トイレを使ったとき、おむつ替えなどで時間がかかると申し訳ないので、個室をベビーカーで入れるようにして、おむつ替えはシートでできるようにすると迷惑がかからなくていい。

司会：塩田さんに維持費を伺うと1億円とのこと。前回のウォッチングの県庁は削減して8億円だった。行政の予算縮小の中、できることできないことがあるが、意見は出していきたいと思う。

【1階 ベビーカー貸し出しについて】

参加者 C：ベビーカーの貸し出しや、利用できる月齢の表示がほしい。

司会：基本的には持参が多いとは思いますが、ベビーカーのサイズが各階の3台が同じだったので、それぞれの種類があるといい。

【1階 授乳室について】

- 水道がない（隣にトイレがあるので、現時点ではそこを利用）
- ポットを置いてほしい。
- 雰囲気は暗い

参加者 D：ソファでゆったり授乳したい。カーテンもあるといい。他施設を見学して明るい雰囲気にしてほしい。

司会：授乳したいときに係員に聞かなければ案内してもらえないのはよくない。表示を探しながら行けないのは気になる。中の雰囲気も暗い。救護者の利用よりは、授乳での利用者の方が多くはないか。授乳室がなく、救護室を使っている点が気になった。救護室は暗い雰囲気、授乳しやすいとは思えない。

【美術館全般】

- キッズパスポート利用で、常設展のみ団体料金になる。
- ベンチがあちこちにあってよかった。

参加者 A：美術館に来たかったが入りづらい雰囲気があるので、ベビーカーOK、子連れOKのアピールがあると入りやすい。

参加者 B：託児付きで鑑賞ができるといい。美術館ボランティアが200名いるということなので、そこから保育スタッフグループを作り上げられないかなと感じた。

司会：子連れでも行ける、というアピールはペンギんくらぶの役目、課題であるが、美術館側の雰囲気作りは必要。一時預かりについては、お子さんと楽しむという視点もあるので、親だけの鑑賞、一緒に観賞と両方の意見もあるかなと思う。

参加者 B：ベビーカー貸し出し、キッズスペース、授乳室なども書いた、子連れ向けのパンフレットがあるといい。ワークショップも集まるし、美術館にも行きやすい。

参加者 C：維持費をかけても、利用する人間がいなければ意味がない。

参加者 E：大人も子どもも楽しめ、少し騒がしくても過ごしやすい美術館にしてほしい。情報が入ってこない、PRをしてほしい。月に1回だけでも、子連れOKの企画をしてほしい。静かな中に見ることも必要だし、静かにすることも教育だが、やむを得ないときには少し目をつぶってもらえる雰囲気だと嬉しい。

塩田課長：建物の維持、作品の保護、光熱水費、修繕費などでかなり予算は厳しい。専用の駐車場がないことは来館者にご迷惑をおかけしている。駐車場からのアクセスなどは、文化センターと相談しながら検討していきたい。頂いた課題は予算を調整しながら、使い勝手の良い美術館にしていきたい。

塙課長：聞きっぱなしにならないように、できることから取りかかりたい。幼児向けの企画の資料をお渡ししたい。芸術館の美術館散歩のような企画も考えていきたい。近代美術館もオープン当時は「ファミリー美術館」と謳った企画を行っていたのだが、予算削減の際に、最初に削られてしまい、現在のワークショップに変遷していった。来年度には子ども向けの企画展も考えている。

司会：情報提供と言う点では、ペンギんくらぶもご協力できるので、ご連絡いただきたい。

司会挨拶

司会：係員の方に聞くと、ぐずったお子さんは保護者の方が気を使って出してしまうそうなので、鑑賞できるような雰囲気作りを目指し、親と、祖父母と、一緒に来られるような美術館にしてくれるとありがたいです。来館者 300 万人を超え、さらに来館者が増えるように期待しています。今日は、絵を見ながらの地域活動ができて、心安らぐひとときでした。子育て世代にもこのような時間は必要だと感じました。ご協力ありがとうございました。